

北新小学校における教師の多忙化改善への取組例

会議等の時間を短縮する

そのため・・・①会議資料の事前配布を行い、事前に資料に目を通すことで、提案の効率化を図る。

②議事ごとに提案・協議時間を決め、定刻終了を目指す。

その成果として・・・残業として行っていた教材研究や授業準備を、短縮された時間で行うことができる。⇒ 効果的な指導につながっていく。

賞状伝達式と学級役員任命式を休み時間に実施する

そのため・・・表彰された児童や学級役員になった児童の紹介は、お昼のテレビ放送で行う。

その成果として・・・授業時数や授業時間を減らすことなく、指導や学習の時間を着実に確保できる。⇒ わかりやすい授業につながっていく。

残業時間を縮減する

そのために・・・①毎週水曜日は、児童下校3時45分として、勤務時間内に教材研究や授業準備等にあて、夜遅くまで残業しないよう心がける。

②水曜日の内、月に1回を「ノー残業デイ」として、定時退庁を励行する。

その成果として・・・教職員の健康保持を図る。

⇒ 教職員が健康であることは、児童にとって安心した学習環境の保持につながる。